

ストレスチェック

- 2015年から「こころの健康チェック」を導入し、社員が毎年ストレスチェックを受けられる環境を整備しています。
- 個人への結果報告に加え、職場には集団分析結果をフィードバックし社員の心の健康づくりをサポートしています。
- 高ストレス者には個別面談を実施し、早期にケアできるように取り組んでいます。

ストレスチェック	2020年	2021年	2022年
「こころの健康チェック」受検率	100%	100%	100%
高ストレス医師面接者数（人）	0人	0人	0人
総合健康リスク（全国平均100 低値ほど良好）	94	95	93

各種指標

- 有休取得日数20日またはカットゼロを目標とし、さらなるワークライフバランスの推進を目指して取り組んでいます。
- 長時間労働管理については、一般社員はもちろん、管理職についても「健康管理時間」での長時間労働管理を行い、過重労働による健康障害の未然防止に努めています。

	2020年	2021年	2022年
平均残業時間（月）	13時間	20時間	
有休取得率（年）	103%	93.9%	
平均勤続年数	17.4年	17.3年	21.6年
離職者数	14人	16人	10人

メンタルヘルス教育

- 社員の健康課題に応じた健康セミナーを実施し、個人の健康施策の当事者意識促進と職場の健康風土醸成を図っています。
- 2022年度より管理職を対象にメンタルヘルス（ラインケア）教育を実施しています。また、2023年度は全従業員に対してメンタルヘルス（セルフケア）教育を実施しています。

年度		対象者	対象者数	受講率
2022年度	メンタルヘルス（ラインケア）	管理職	39名	100%
2023年度	メンタルヘルス（ラインケア）	新任管理職	7名	100%
	メンタルヘルス（セルフケア）	全社員	480名	100%

復職支援制度の整備

- こころやからだの病気で長期休業をされた社員が円滑に職場復帰できるよう、産業医・医療スタッフ、職場・人事が連携し、復職をサポートする体制を整えています。

相談窓口の設置

- 選任の医療スタッフが相談対応する社内相談窓口だけでなく、社外相談窓口（健康保険組合、顧問法律事務所、会社提携の福利厚生業者）を展開し、適切な相談窓口を選択することができます。

傷病による休職者率（アブセンティーズム）

	2020年	2021年	2022年
休業者率	4.5%	2.2%	

プレゼンティーズム

	2020年	2021年	2022年
WLQ*1の仕事の パフォーマンス総合評価	93.8%	93.5%	93.8%

*1 Work Limitations Questionnaire 体調不良によって業務遂行ができなかった時間の割合、頻度を問う調査票

女性の健康課題への対策

- プレゼンティーズムの要因となっている女性特有の健康課題に対して、自分のからだの現状にきづく機会の場の提供として女性向け健康支援システムを導入しました。
- オンライン問診（婦人科専門医による結果返却）、正しい知識の提供、オンライン相談や医療機関の紹介などが利用できます。

	2022年
健康支援システム登録率	68.4%